

台風を知ろう

■ 台風とは

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち北西太平洋で発達して中心付近の最大風速が17・2メートル/秒(風力8)以上になったものを「台風」と呼びます。

台風は上空の風に流されて動き、地球の自転の影響で北へ向かう性質を持っています。そのため、東風が吹いている低緯度では台風は西へ流されながら次第に北上し、上空で強い西風(偏西風)が吹いている中・高緯度に来ると、速い速度で北東へ進みます。

しまい消滅するケースもありますが、ほとんどの場合、発達しながら接近する傾向があります。台風情報で「大型で強い台風第

〇〇号は・・・」といったことをよく耳にされることがあると思います。この「大型で強い」は、「強風域」の半径や「最大風速」によつ

出来てますか？

台風への備え

四国・九州地方は「台風銀座」と呼ばれるほどの台風の通り道で、毎年、各地で大きな被害が発生しています。

平成16年は、観測史上最多となる10個の台風の上陸により、全国各地で水害、土砂災害、高潮災害等が発生し、多くの死者・行方不明者を出しました。台風は三好市内にも激しい雨や風をもたらす、池田町野呂内地区や井川町辻地区などで大きな被害が発生しました。

8月から10月にかけてのこれからが、台風が多く発生する台風シーズンとなります。被害を最小限にとどめるために、日頃から風水害に対する正しい知識を学び、備えておくことが大切です。

台風は突然襲ってくる地震とは違い、事前に情報が得られます。テレビなどから出される情報には十分注意してください。

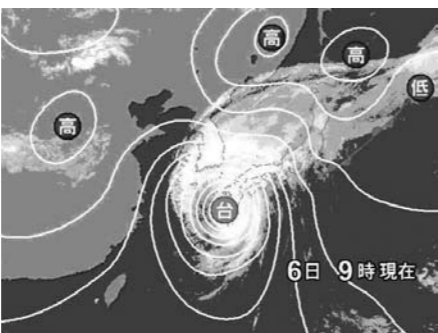
必要となります。

■ 台風の大きさと強さ

台風は暖かい海面から供給された水蒸気が凝結して雲粒になるときに放出される熱をエネルギーとして発達します。日本近海の海水温が低いと、途中で勢力が衰えて

て区分していて、台風のおおよその勢力の目安を示しています。強風域とは、平均風速15メートル/秒以上の強風が吹く範囲です。

台風の大きさや強さは、防災的な警戒事項をわかりやすくするため、台風が大きいほど、遠方にあつても強風が吹くなどの影響を受けやすくなります。また台風が強いほど、より大きな影響を受けおそれがあることを表します。



平成17年9月6日の天気図。台風14号が九州に上陸しました。

■ 雨と風の強さ

台風は、大雨と強風により大きな被害をもたらします。

「1時間の雨量と降り方」と「風と被害」を参考に気象情報に十分注意し万全の対策をとるようにしましょう。

雨量の見方

気象情報の注意報・警報はもちろん、雨量にも注意しましょう。雨の量は、「ミリ」(雨の中に置



平成16年台風16号で冠水被害を受けた河川敷駐車場(山城町)

いたずらに容器にたまる水の深さ)で表わされます。1時間の雨量が20ミリ(どしゃぶり)以上のとき、側溝があふれたり、小さながけ崩れなどが発生し始め、道路の通行も危険になってきます。また、弱い雨でも、降り始めからの雨量が100ミリを超えたときは被害が出るおそれがあります。

風速の見方

風速は1秒当たりの速度で表わされます。風速10メートル以上(やや強い風)強い風)で、取付けの弱い看板やトタン板などが飛ばされ始め、外出は危険な状態になります。20メートル以上(非常に強い風)では商店のシャッターが壊れたり、飛来物で窓ガラスが割れたり、列車が徐行運転になるなど、交通機関にも影響が出てきます。台風の風は地形や時間で強さや方向が一変しますので、一層の注意が必要です。

台風の大きさ

大きさ	風速12m/s以上半径
(表現なし)	500km未満
大型	500km以上800km未満
超大型	800km以上

台風の強さ

強さ	最大風速
(表現なし)	33m/s未満
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

注意報と警報

	種類	発表の時期
注意報	大雨 洪水 波浪 強風 雷 高潮	災害が起こる恐れがあるとき。
警報	大雨 洪水 高潮 強風 波浪	重大な災害が起こる恐れがあるとき。

1時間の雨量と降り方

1時間の雨量	雨の降り方
8mm~15mm	雨の降る音が聞こえる。
15mm~20mm	地面一面水たまり。雨音で話し声がよく聞こえない。
20mm~30mm	どしゃ降り。側溝がたちまちあふれる。大雨注意報。
30mm~50mm	バケツをひっくり返したような雨。大雨警報。場合により避難の準備を始める。
50mm以上	滝のように降る。土石流が起こりやすい。

風と被害

風速	被害
風速10m/s	傘がさせない。
風速15m/s	看板やトタンが飛び始める。
風速20m/s	小枝が折れる。
風速25m/s	かわらが飛びテレビアンテナ等が壊れる。
風速30m/s	雨戸が外れ、家が倒れることもある。



恐ろしい土砂災害

降雨等にともない突然発生し、地域に壊滅的な被害をもたらす土砂災害は、人的被害が多いのが特徴です。

■市全体が危険地帯

急傾斜地が多い三好市は、その大部分が土砂災害の危険地帯であり、これまでも、様々な土砂災害が発生しています。

大雨が続くと、土砂災害の危険性が高まりますので、日頃からどこが危険か、避難経路等について、確認しておきましょう。

■土砂災害の種類

土砂災害の種類と特徴は次のと

おりです。

「土石流」

谷や斜面にたまった土などが集中豪雨による水と一緒に流れて、一気に流れ出てくるものです。破壊力が大きく、また速度も速いので、大きな被害をもたらします。

「がけ崩れ」

極めて急な斜面が急激に崩れる現象で、地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった人工的な台地の急斜面や切り土斜面



平成16年台風21号で発生した土砂災害(池田町野呂内地区)

が崩れ落ちるのががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時にして崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。

「地すべり」

比較的緩やかな斜面で、滑りやすい面が地下水の影響などで、ゆっくりと動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると住宅や道路などに被害が及んでいきます。

■土砂災害は予測が困難

気象庁では近年、重大な土砂災害の危険性が高まったと判断される場合には、発表中の大雨警報を切り替えて「過去数年間で最も土砂災害の危険性が高まっている」という表現により、一層の警戒を呼びかけています。

しかし、土砂災害は予測が極めて難しく、突然起こりやすい現象です。大雨がいちばん強く降ってから1時間以内、あるいは3〜4時間後を中心として、がけ崩れが起きやすいことが統計的に知られていますので、雨が峠を越えてから1時間以内に土砂災害が起らない場合でも、4時間前後は危険

が去っていないとお考え下さい。

■土砂災害の前兆現象

1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上になったら要注意です。

つぎのような現象に気づいたら、早めに避難を心がけ、絶対に危険個所に近づかないようにしましょう。

「土石流」

- ①山鳴りがする。
- ②腐った土の臭いがする。
- ③急に川の流れが濁り流木が混ざっている。
- ④雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

「がけ崩れ」

- ①がけに割れ目が見える。
- ②がけから水が湧き出ている。
- ③がけから小石がばらばらと落ちてくる。
- ④木の根が切れる音がする。

「地すべり」

- ①沢や井戸の水が濁る。
- ②地面にひび割れができる。
- ③斜面から水がふき出す。
- ④家や擁壁に亀裂が入る。
- ⑤家や擁壁、樹木などが傾く。



台風に備えて

台風の被害を最小限にするには、気象情報などから情報を収集し、自衛や避難などの適切な判断をすることが大切です。

■まず情報収集を

大雨などのときに発表される注意報や警報は、住民の皆さんに注意を呼び掛け、災害による被害を最小限に抑えることを目的としています。台風が多いこの時期は、テレビやラジオの気象情報には、常に注意しておいてください。

台風は地震などとは違い、事前にその大きさや進路などの情報を、天気予報などで知ることができ、暴風域に入らないうちに「その時の予想雨量はどのくらいになるのか」などを見逃さずチェックしてください。

インターネット等でも雨量情報や河川の水位などの詳しい情報を得ることができます。下表のホームページで詳しい情報が得られますので活用下さい。

これらの情報を見るポイントとしては、台風が四国のどちらを通過するかによって本市への影響が変わってきます。台風が四国の北西側(九州から中国地方)を通過する場合は特に警戒が必要です。



■台風が来る前の備え

台風の接近を、テレビなどで知ったら、大雨が降る前や暴風が吹く前に、家の外回りの点検を行うなど、災害への備えをもう一度確認しましょう。

強風の恐れがありますので、家の周りの飛ばされやすいものは片付けましょう。それから、屋根や雨どい、塀などで傷んでいる所があればできる限り修理しておきましょう。強風にあおられた物干しざおが壁に突き刺さったという例もあります。予想以上の強い風が吹く場合がありますので、十分に注意してください。

災害に備えて、非常持出袋を用意しているご家庭もあると思いま

インターネットで得られる防災関連情報	
気象庁 気象情報	http://www.jma.go.jp/jma/ 全国各地の気象情報など
日本気象協会	http://www.tenki.or.jp/ 気象・地震・津波などの観測情報など
国土交通省防災情報提供センター	http://www.bosaijoho.go.jp/ リアルタイムの雨量、雨雲の状況など
道路情報提供システム	http://www.skr.mlit.go.jp/info/regulate/kyk/its/ 四国地方整備局が提供する道路気象情報など
水資源機構 池田総合管理所	http://www.cn05.awakeda.net/~ike-sou/ 雨量・河川水位などのダム管理情報



平成16年台風21号と23号で土砂災害の被害を受けた井川町辻地区